



vol.79



ポイ捨てが横行する駅前公園。 毎週月曜朝に 社員が当番制で清掃活動

青木ハウジング(株)(横浜市緑区)

横浜市緑区を中心に売買仲介、賃貸仲介・管理等を展開する青木ハウジング(株)(代表取締役：青木博昭氏)は、地域の子供たちなどでにぎわう駅前公園で清掃活動を毎週実施。ポイ捨てされたごみや落ち葉等を丹念に拾い集めて処分し、公園美化に貢献している。

植え込みの中、公衆トイレ… 空き缶、吸い殻を徹底除去

“整理・整頓・清潔”をスローガンとし、開店前にトイレやデスクの清掃、床のワックスかけ等を社員全員で分担して毎日欠かさず実施している同社。数年前に地域貢献活動について社内で検討したところ、「こうした美化運動を社外でも行なえば、まちがきれいになり地域住民から喜ばれるのでは」との意見が出されたことから、まちの清掃活動に取り組むことにした。

周囲を巡り清掃場所について思案する中で、店舗近くにある「中山駅北第一公園」に注目。日中は遊具で遊ぶ親子連れ等でのぎわうが、駅前ということもあってか、ポイ捨てが横行し、敷地内には空き缶や煙草の吸い殻が常時見られるほか、樹木からの

大量の落ち葉もそのままのことが多かった。そこで、同公園を清掃場所に決定。2017年より活動を開始した。

清掃日は毎週月曜日。社員2人がペアとなり、毎週ひと組みずつ当番制で実施してい



青木ハウジング(株)
営業部部长
高柳浩太氏



「暑い時や落ち葉の多い秋等は特に大変ですが、公園がきれいになると達成感があります」(高柳氏) (写真提供：青木ハウジング(株))

る。日課の社内清掃後、ほうきやちり取り等の清掃用具を抱えて公園に向かい、開店前の限られた時間の中で、園内で目に付いたごみや落ち葉をできる限り取り除いていく。通常は気付かないようなごみにも目を光らせ、「植え込みの中に押し込まれた空き缶等も枝をかき分けて拾うほか、公衆トイレもごみがないか必ずチェックしています」(営業部部长・高柳浩太氏)。

スタートから約4年が経ち、今や地域にも認知され、まちで会った人に御礼を言われる機会も増えたという。活動を通じ社員の美化意識もさらに高まっているようで、「帰宅途中でも落ちているごみを拾うようになった、という声があがっています」(同氏)。

今後も、地域活動としてを長く行なっていく考え。「来年4月には数年ぶりに新入社員が入社します。活動をさらに進化させる新たなアイデアに期待したい」(同氏)。